

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2017-183295(P2017-183295A)
【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-038
【出願番号】特願2017-119682(P2017-119682)
【国際特許分類】

H 0 1 R 4/64 (2006.01)

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 4/64 C

H 0 5 K 9/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 電源システムおよび第 2 電源システムと、
前記第 1 電源システムに接続され、第 1 通信を行なう第 1 シールド電線と、
前記第 2 電源システムに接続され、前記第 1 シールド電線に近接して配置され、第 2 通信を行なう第 2 シールド電線と、を備え、
前記第 1 シールド電線は、第 1 電線部と、前記第 1 電線部を被覆するシールド層と、を含み、
前記シールド層の一部は、第 1 ドレン線として引き出され、前記第 1 電源システムか、もしくは前記第 1 電源システムと同電位の部位に接地されており、
前記第 1 電線部は、第 1 芯線および第 2 芯線を含み、
前記第 1 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムまでの距離と、前記第 2 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムまでの距離とが略同じである、
通信システム。

【請求項 2】

前記第 1 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムまでの距離と、前記第 2 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムまでの距離と、前記第 1 ドレン線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムまでの距離とが略同じである、
請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 3】

第 1 電源システムおよび第 2 電源システムと、
前記第 1 電源システムに接続され、第 1 通信を行なう第 1 シールド電線と、
前記第 2 電源システムに接続され、前記第 1 シールド電線に近接して配置され、第 2 通信を行なう第 2 シールド電線と、を備え、
前記第 1 シールド電線は、第 1 電線部と、前記第 1 電線部を被覆するシールド層と、を含み、

前記シールド層の一部は、第 1 ドレン線として引き出され、前記第 1 電源システムか、もしくは前記第 1 電源システムと同電位の部位に接地されており、

前記第 1 電線部は、第 1 芯線および第 2 芯線を含み、

前記第 1 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムと同電位の部位までの距離と、前記第 2 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムと同電位の部位までの距離とが略同じである、

通信システム。

【請求項 4】

前記第 1 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムと同電位の部位までの距離と、前記第 2 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムと同電位の部位までの距離と、前記第 1 ドレン線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記第 2 電源システムと同電位の部位までの距離とが略同じである、

請求項 3 に記載の通信システム。

【請求項 5】

第 1 電源システムおよび第 2 電源システムと、

前記第 1 電源システムに接続され、第 1 通信を行なう第 1 シールド電線と、

前記第 2 電源システムに接続され、前記第 1 シールド電線に近接して配置され、第 2 通信を行なう第 2 シールド電線と、を備え、

前記第 1 シールド電線は、第 1 電線部と、前記第 1 電線部を被覆するシールド層と、前記シールド層を被覆する外側シールド層と、を含み、

前記シールド層の一部は、第 1 ドレン線として引き出され、前記第 1 電源システムか、もしくは前記第 1 電源システムと同電位の部位に接地されており、

前記外側シールド層の一部は、第 2 ドレン線として引き出され、前記第 2 電源システムか、もしくは前記第 2 電源システムと同電位の部位に接地されており、

前記第 1 電線部は、第 1 芯線および第 2 芯線を含み、

前記第 1 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記外側シールド層までの距離と、前記第 2 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記外側シールド層までの距離とが略同じである、

通信システム。

【請求項 6】

前記第 1 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記外側シールド層までの距離と、前記第 2 芯線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記外側シールド層までの距離と、前記第 1 ドレン線のうちの前記シールド層によって被覆されていない部分から前記外側シールド層までの距離とが略同じである、

請求項 5 に記載の通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信システム